

亀岡市総合教育会議資料

中学校部活動の地域展開について

1 国の改革の理念

- (1) 将来にわたって中学生が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しみ取り組む機会を確保するために、中学校の部活動改革が必要である。
- (2) これまで学校単位で取り組んできた部活動に代わるスポーツ・文化芸術活動を地域全体で関係者が支えることが必要である。
- (3) すべての中学生がそれぞれの希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備することが重要である。

2 スポーツ基本法 第十七条の二

地方公共団体は、中学校の生徒の数の減少及びこれに伴う中学校の部活動の実施に係る状況を踏まえ、中学校の生徒が継続的に多様なスポーツに親しむことができるよう、地域の実情に応じて、…

～ 略 ～

中学校の生徒が地域においてスポーツに親しむ機会を確保するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

3 中学校の部活動の現状

(1) 生徒数の減少により、学校単独（単体）での部活の維持継続が難しくなっている。

- ① 団体競技の大会やコンクールに参加・出場ができない。
- ② 教職員定数が削減され、顧問が不足している。（廃部、休部）

(2) 生徒の学校外でのスポーツや文化芸術活動が多様化している。

- ① 部活に積極的な加入になっているか懸念される。
- ② 自分の学校に希望する部活が設置されていない場合がある。

(3) 教職員の働き方改革が求められている。

- ① 専門性のない部活や教員本人の意思に沿わない部活の顧問を勤めざるを得ない場合がある。
- ② 技術指導が困難な状況が高まっている。

4 国が示す方向性

(1) 改革実行期間（6年間）

- ① 前期（令和8年度～令和10年度の3年間）
- ② 後期（令和11年度～令和13年度の3年間）

(2) 改革実行内容

- ① 市町村が改革の責任主体となること
- ② 前期の間に確実に休日の地域展開に着手すること
- ③ 前期の検証など中間評価を経て、後期の3年間で地域の実情に沿った望ましいあり方を見出すこと

5 今後の生徒のスポーツ・文化芸術活動のあり方

(1) 現在

部活動 + 少年団・習い事・クラブチーム等
(中学校) (地域)



(2) 今後

(仮称) 認定地域クラブ + 少年団・習い事・クラブチーム等
(地域全体)

- 6 (仮称) 認定地域クラブにおける想定される新たなメリット
- (1) 生徒のニーズに応じた選択と多様な体験
 - (2) 学校の垣根を超えた生徒同士のつながり
 - (3) 技術や知識・技能、経験を備えた指導者による一貫した専門的指導
 - (4) 学校段階にとらわれない継続的な活動
 - (5) 地域住民の参画による地域の活性化
 - (6) 教職員の働き方改革の推進

7 (仮称) 認定地域クラブへの加入についての基本的な考え (案)

- (1) 生徒の平日及び休日の時間の使い方に係る意向を最優先する。
- (2) 個々の生徒の実態に応じて加入を勧める。
- (3) スポーツ・文化芸術団体で活動し有意義な時間を過ごしている生徒へは(仮称)認定地域クラブへの加入は勧めない。
- (4) 各種資格の取得や学力向上、受験対策、またボランティア活動に中して取り組みたい生徒についても、認定地域クラブへの加入は勧めない。
- (5) 他市町在住の生徒や国府私立学校所属の生徒で、(仮称)認定地域クラブへの加入希望者は受け入れる。

8 今後の検討・協議事項

- (1) 庁内部活動地域展開検討会議（第1回開催）
- (2) (仮称) 部活動地域展開推進委員会等の設置とそのスケジュール
- (3) 各協会、各競技・文化芸術団体への説明
- (3) 地域関係機関・団体、保護者等への説明
- (4) (仮称) 認定地域クラブの認定方法、設置エリア、設置数
- (5) 活動場所、活動回数
- (6) 活動経費
 - ① 受益者負担
 - ・ どのクラブも一律か個別設定か
 - ② 指導者への謝金（報酬）
 - ・ 教職員の兼業兼務
 - ③ 補助
 - ・ 国 1/3、府 1/3、市 1/3（案）
 - ・ 要保護家庭の生徒への支援

9 教職員へのアンケート（抜粋、速報値）

※調査期間 令和8年5月13日（水）～5月22日（金）

（1）アンケート調査対象教職員数 119名（教諭、養護教諭、常勤講師）

（2）アンケート内容

① 担当している部活動は一定の専門的な技術指導ができる部活ですか？

できる …… 57%

できない …… 43%

② 土日祝日の部活動が地域展開になれば、地域クラブの指導をしますか？

・ したい …… 9%

・ どちらかと言えばしたい …… 10% ⇒ 肯定的：19%

・ したくない …… 45%

・ どちらかと言えばしたくない …… 18% ⇒ 否定的：63%

③ 地域展開により、地域の指導者が部活動を担うことをどう思いますか？

ア 平日

- ・ 賛成する・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 4 %
- ・ どちらかと言えば賛成する・・・・・・ 2 4 % ⇒ 肯定的： 5 8 %

※20 歳～40 歳代⇒ 6 6 % 50 歳～60 歳代⇒ 2 8 %

- ・ 反対する・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 %
- ・ どちらかと言えば反対する・・・・・・ 1 3 % ⇒ 否定的： 2 0 %

イ 土日祝日

- ・ 賛成する・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 0 %
- ・ どちらかと言えば賛成する・・・・・・ 2 6 % ⇒ 肯定的： 6 6 %
- ・ 反対する・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 %
- ・ どちらかと言えば反対する・・・・・・ 8 % ⇒ 否定的： 1 3 %

④ 部活動の指導において、苦労や悩み、負担を感じることは何ですか？

ア 校務多忙により部活動の指導時間が十分確保できない

- ・ 当てはまる・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 1 %
- ・ どちらかと言えば当てはまる・・・・ 3 5 % ⇒ 6 6 %

イ 部活動の指導により、相談を受けたり学習面の支援をしたり、生徒と向き合う時間が十分とれない

- ・ 当てはまる・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 5 %
- ・ どちらかと言えば当てはまる・・・・ 3 7 % ⇒ 6 2 %

ウ 校務と部活動の指導の両立が難しい

- ・ 当てはまる・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 7 %
- ・ どちらかと言えば当てはまる・・・・ 3 1 % ⇒ 6 8 %

エ 仕事と生活のバランスが崩れ、プライベートの時間が確保できない

- ・当てはまる・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 8 %
- ・どちらかと言えば当てはまる・・・・・・ 2 4 % ⇒ 7 2 %

オ 心身の疲労、休息不足を感じる

- ・当てはまる・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 5 %
- ・どちらかと言えば当てはまる・・・・・・ 2 2 % ⇒ 6 7 %

カ 部活動における自分の指導力不足を感じる

- ・当てはまる・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 3 %
- ・どちらかと言えば当てはまる・・・・・・ 1 7 % ⇒ 6 0 %

キ 大会や試合、コンクール等の役員、審判、運営業務に負担を感じる

- ・当てはまる・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 6 %
- ・どちらかと言えば当てはまる・・・・・・ 1 9 % ⇒ 6 5 %

10 設置する委員会

① 庁内部活動地域展開検討会議

副市長、教育長、生涯学習部長、教育部長、教育部次長、生涯スポーツ課長、文化芸術課長、教育総務課長、学校教育課長、社会教育課長、担当指導主事、各課担当職員

②（仮称）部活動地域展開推進委員会

○副市長

○教育長

○亀岡市スポーツ関係団体

・ 亀岡市スポーツ協会会長専務理事事務局長・亀岡市スポーツ競技団体（25連盟・協会）代表若干名

・ 亀岡市スポーツ振興会（21振興会）代表若干名・亀岡市スポーツ少年団（23少年団）代表

○文化芸術関係団体代表 ○中学校長代表・小学校長代表・口丹波高等学校代表

○市PTA連絡協議会役員代表（中学校）○先端科学大学代表・国際医療大学代表

11 その他

今後の中学校生徒数の推移（予測）※国府私立も含む

現在：2311 名→6 年後：2066 名 ※245 名減

→10 年後：1727 名 ※584 名減